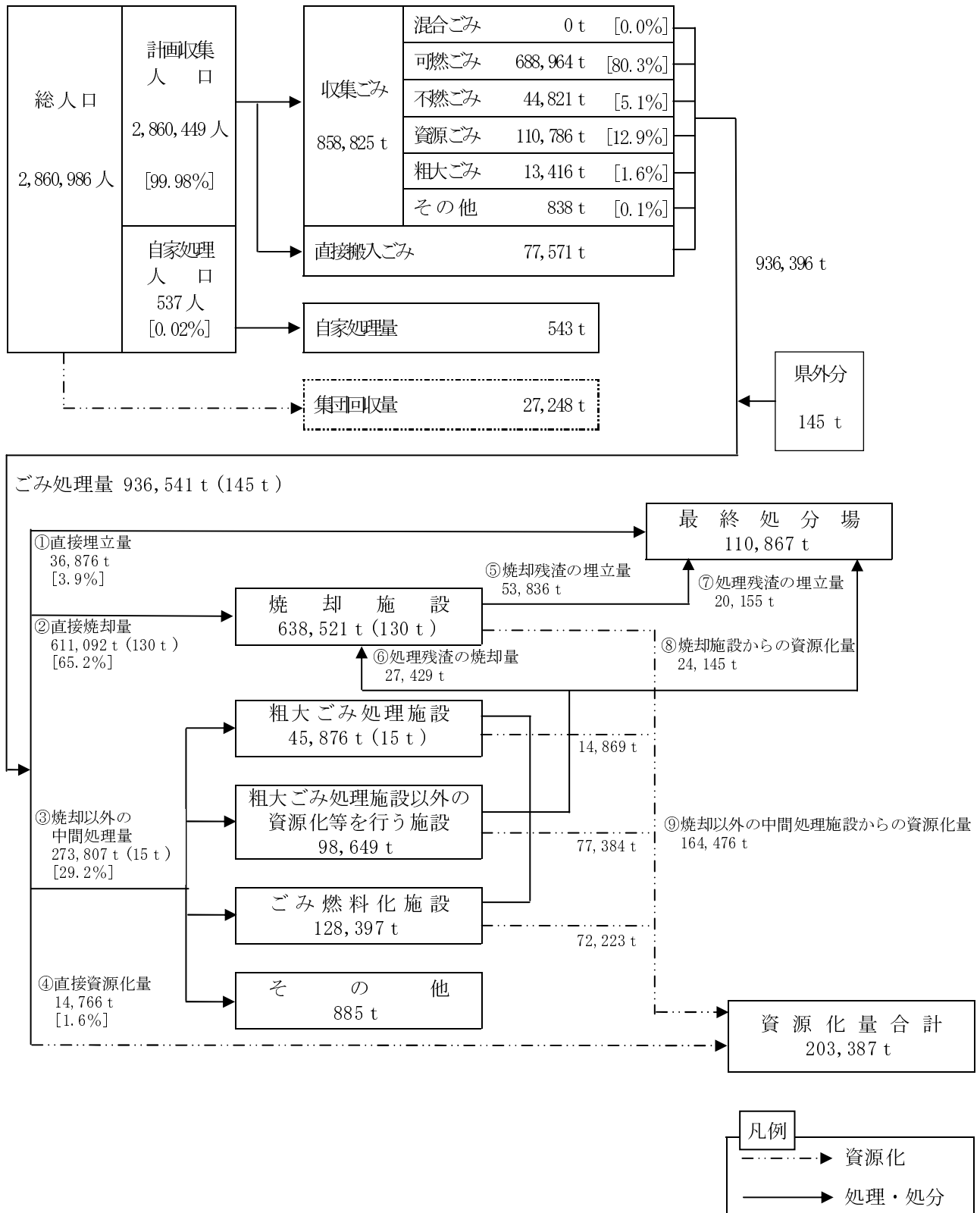


II ご み

1 概要

平成 21 年度におけるごみ処理フローシートは、図 2-1 のとおりである。



(注) 県外分とは、愛媛県今治市からの受託分であり、() 内の量は県外分の内数である。

図 2-1 ごみ処理フローシート

2 処理人口、分別状況及び収集処理手数料

(1) 処理人口

ごみ処理人口の推移は、表2-1及び図2-2のとおりである。自家処理人口は、平成18年度以降ほぼ横ばいで推移している。

表2-1 ごみ処理人口の推移

(単位：人)

区 分 年 度	計画収集人口 (A)	自家処理人口 (B)	計画処理区域内人口 (A+B)
17	2,873,218	2,148	2,875,366
18	2,871,789	595	2,872,384
19	2,868,419	580	2,868,999
20	2,863,651	589	2,864,240
21	2,860,449	537	2,860,986

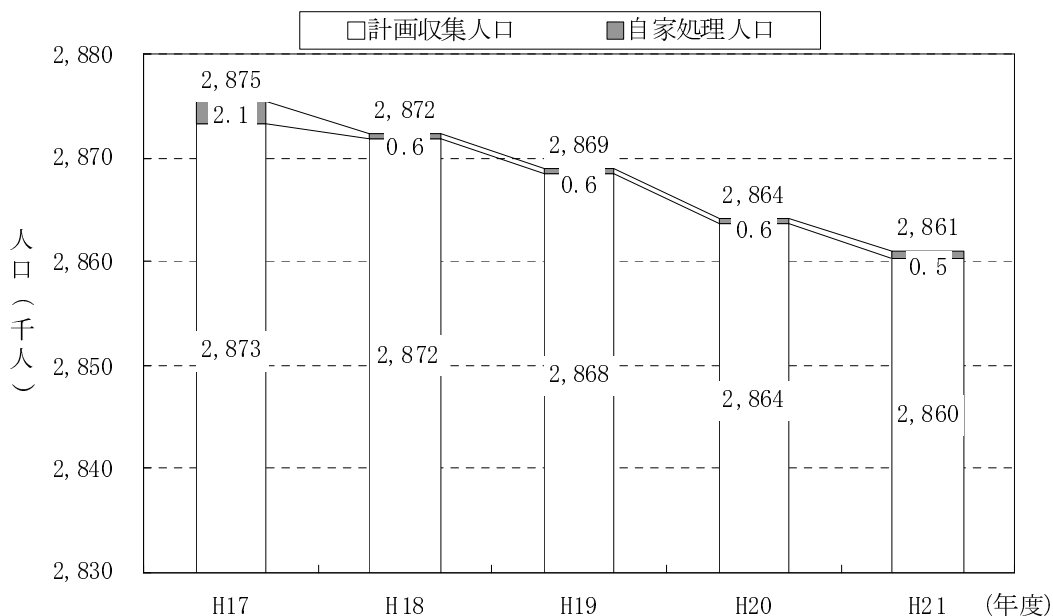


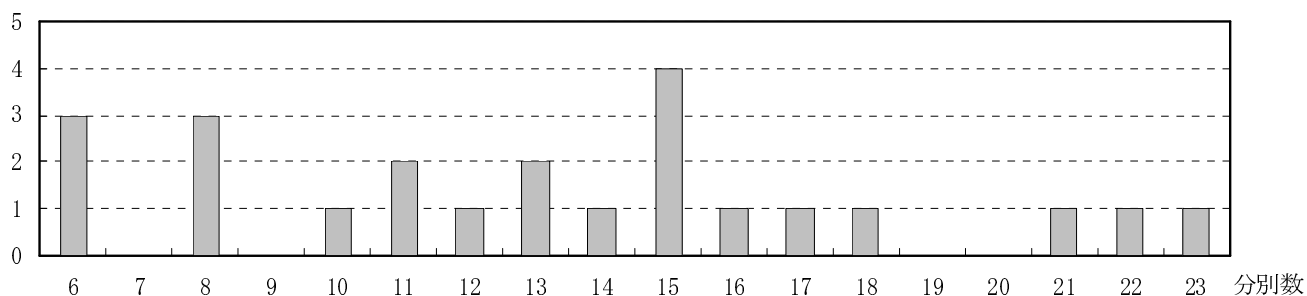
図2-2 ごみ処理人口の推移

(2) 分別状況

各市町におけるごみの分別収集の状況は、図2-3のとおりである。可燃、不燃、資源、粗大などと大きく分類した6種類分別から、資源ごみを容器包装リサイクル法対象品目などに細分類した23種類分別となっている。

ごみの、資源化を促進するため、分別収集の取組が進められている。

市町数



(注) 分別数は、排出者がごみを排出する際に分ける必要のある数を計上している。例えば、資源ごみとして缶、びん、ペットボトルを分けて収集している場合、資源ごみの分別数は3を計上する。

図 2-3 各市町における分別収集の状況

(3) 収集処理手数料

各市町の生活系ごみ収集処理の有料化状況は、表 2-2 のとおりである。

平成 21 年度末の時点で生活系ごみの収集処理を有料化している市町は、23 市町のうち、可燃ごみが 11 市町、不燃ごみが 7 市町、粗大ごみが 11 市町である。また、排出者が直接搬入する生活系ごみについては、可燃ごみが 7 市町、不燃ごみが 5 市町、粗大ごみが 8 市町である。

事業系ごみについては、多くの場合、収集許可業者が排出者から収集して処理施設に搬入する形態であるが、許可業者が処理施設に搬入する際に市町が手数料を徴収する場合も含め、事業系ごみの処理を有料化している市町は、可燃ごみが 21 市町、不燃ごみが 15 市町、粗大ごみが 13 市町である。

表 2-2 市町のごみ収集処理の有料化状況

(単位：市町)

区 分		可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ (紙類の状況)	粗大ごみ	そ の 他	
有 料 化 市 町 数	生活系	収集ごみ	11	7	3	11	3
		直接搬入	7	5	3	8	4
	事業系	収集ごみ	21	15	9	13	9
		直接搬入	23	17	12	15	9

- (注) 1 有料化とは、市町等がごみ収集処理についての手数料を徴収する行為を指す。なお、手数料を上乗せせずに販売される一定規格のごみ袋（指定袋）の使用を排出者に依頼する場合には、有料化に該当しない。
- 2 直接搬入とは、排出者が直接処理施設に持ち込む場合を指す。
- 3 事業系ごみについて、収集許可業者が処理施設に搬入する際に市町等が手数料を徴収する場合は、収集ごみの有料化として取扱う。
- 4 有料化でない市町については、手数料を徴収しない場合と、市町において当該区分を収集しない場合がある。

市町別計画処理区域内人口、ごみの分別、収集運搬及び手数料の状況は、IV資料編の資料一表 7 及び表 8 に示すとおりである。

3 排出量

(1) 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量

収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移は、表2-3のとおりである。

表2-3 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移

(単位：t/年)

区分 年度	収集形態別収集量				直接搬入 ごみ	排出量 合計	自家 処理量	自家処理量を 含めた排出量
	直 営	委 託	許 可	計				
17	279,722	342,206	336,168	958,096	108,132	1,066,228	552	1,066,780
18	263,344	361,963	314,563	939,870	109,888	1,049,758	117	1,049,875
19	243,931	361,643	307,243	912,817	86,656	999,473	122	999,595
20	229,735	354,097	292,438	876,270	76,821	953,091	192	953,283
21	221,754	351,894	285,177	858,825	77,571	936,396	543	936,939

(注) 県外分は含まない。

(2) 1人1日当たりのごみ排出量

1人1日当たりのごみ排出量の推移は、表2-4及び図2-4のとおりである。1人1日当たりのごみ排出量は、平成13年度以降継続的に減少している。また、全国平均と比較しても低い値となっている。

表2-4 1人1日当たりのごみ排出量の推移

(単位：g/人・日)

年 度	17	18	19	20	21	全国平均 (平成20年度)
1人1日平均排出量	1,017	1,001	952	912	897	971

(注) 1人1日当たりの排出量 = (排出量 (g)) / (計画収集人口×365又は366日)

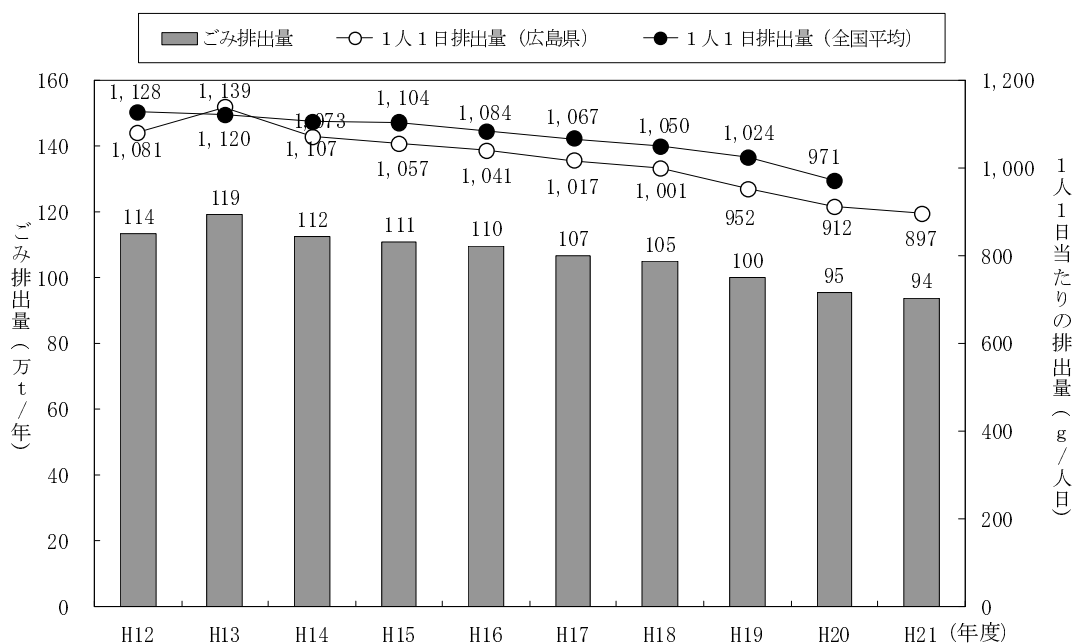


図2-4 ごみ排出量と1人1日当たりの排出量の推移

(3) 生活系及び事業系ごみの排出量

生活系及び事業系ごみの排出量の推移は、表 2-5 のとおりである。平成 21 年度は前年度と比べ、生活系ごみは 0.7%、事業系ごみは 3.6%減少した。

表 2-5 生活系及び事業系ごみの排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	17	18	19	20	21
生活系ごみ	661,236	666,516	628,704	607,683	603,493
事業系ごみ	404,992	383,242	370,769	345,408	332,903
合計(排出量)	1,066,228	1,049,758	999,473	953,091	936,396

(注) 県外分は含まない。

(4) 集団回収量

生活系ごみのうち、古紙類、空き缶など直接資源化が可能なものについては、市町等によるごみ収集処理を経ずに、自治会などの住民団体による集団回収により収集され、資源化されています。

平成 21 年度における集団回収量(集団回収のうち、市町等が関与し把握しているものの量をいう。以下同じ。)は、27,248 t であり、集団回収量を加味したごみの排出量は、963,644 t (1 人 1 日当たり 923g) である。

集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移は、表 2-6 のとおりである。

表 2-6 集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	17	18	19	20	21
集団回収量	28,636	28,541	28,403	28,264	27,248
集団回収量を 加味した排出量	1,094,864	1,078,299	1,027,876	981,355	963,644
生活系	689,872	695,057	657,107	635,947	630,741
事業系	404,992	383,242	370,769	345,408	332,903
集団回収量を加味した 1 人 1 日あたりの排出量 (g/人・日)	1,043	1,028	979	939	923

(注) 1 集団回収量は、市町等が関与し回収量を把握しているものについて計上している。

2 集団回収量を加味した排出量 = (収集量) + (直接搬入量) + (集団回収量)

3 生活系・事業系の内訳において、集団回収量は生活系として計上した。

※ 国が公表する全国集計では、平成 17 年度分の公表時から、集団回収量を加味した排出量を「ごみ総排出量」と位置づけている。

市町別の収集量、直接搬入ごみ量、自家処理量、集団回収量及び収集形態別収集量は、IV 資料編の資料一表 9 及び表 10 に示すとおりである。

4 処理量

(1) 処理量の推移

平成 21 年度における県内のごみ処理量は 936,541 t（愛媛県今治市からの受託分 145 t を含む。）で、その内訳は、直接埋立量が 36,876 t（3.9%）、直接焼却量が 611,092 t（65.2%）、焼却以外の中間処理量が 273,807 t（29.2%）、直接資源化量が 14,766 t（1.6%）である。以上の処理量の推移は、表 2-7 及び図 2-5 のとおりである。

表 2-7 ごみ処理量の推移

(単位：t/年)

年 度	直接埋立量	直接焼却量	焼却以外の中間処理量	直接資源化量	合 計
17	54,555	681,294	314,794	15,840	1,066,483
18	47,199	673,114	313,484	16,204	1,050,001
19	36,325	648,262	299,689	15,448	999,724
20	32,986	624,956	280,166	15,124	953,232
21	36,876	611,092	273,807	14,766	936,541

(注) 1 数値には県外からの受託分を含む。

2 可燃ごみを焼却施設へ運搬するために圧縮処理するものは、直接焼却量に含む。

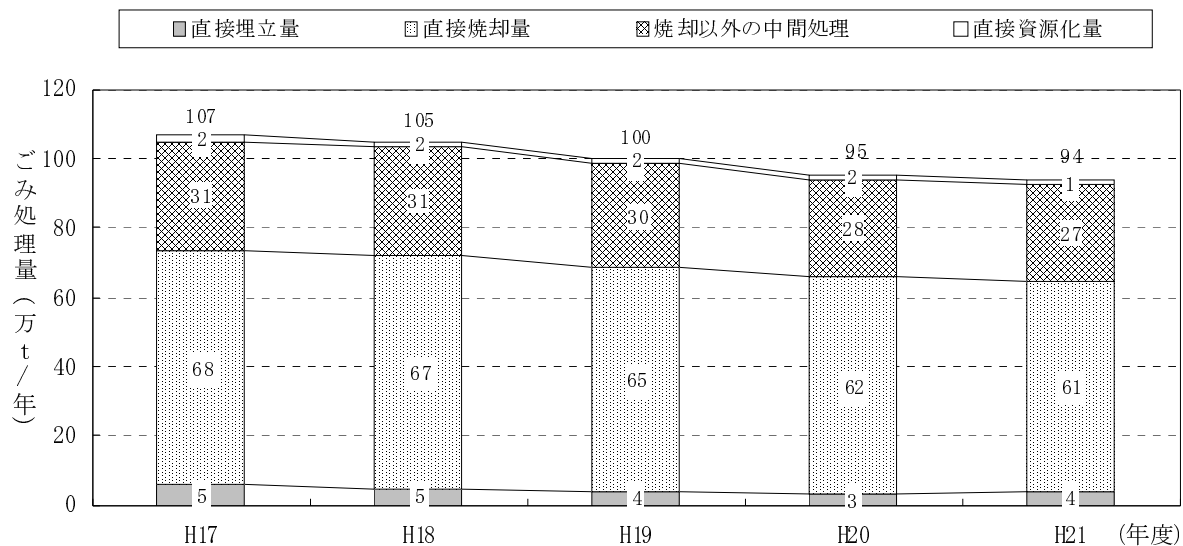


図 2-5 ごみ処理量の推移

(2) 処理方法別の処理量の推移

ごみ処理量を埋立量、焼却量、資源化量の3種類に分類した場合の量の推移は、表2-8のとおりである。直接埋立を行っていたごみの分別資源化による減量化、可燃ごみの燃料化処理や焼却残渣の熔融処理、セメント原料化等による資源化などにより、埋立量は大幅に減少した。平成20年度と比較して、直接埋立量が増加した要因は、江田島市での災害に伴うものである。

また、焼却量についても、可燃ごみの燃料化処理の本格的な稼働により、平成16年度以降、大幅に減少している。

市町別の処理方法別の処理量は、IV資料編の資料一表11に示すとおりである。

表2-8 埋立量、焼却量及び資源化量の推移

(単位：t/年)

区 分		年 度				
		17	18	19	20	21
埋立量	①直接埋立量	54,555	47,199	36,325	32,986	36,876
	⑤焼却残渣の埋立量	74,010	58,723	65,781	55,880	53,836
	⑦処理残渣の埋立量	30,626	28,503	21,147	20,858	20,155
	合 計	159,191	134,425	123,253	109,724	110,867
焼却量	②直接焼却量	681,294	673,114	648,262	624,956	611,092
	⑥処理残渣の焼却量	29,765	31,227	31,075	28,565	27,429
	合 計	711,059	704,341	679,337	653,521	638,521
資源化量	④直接資源化量	15,840	16,204	15,448	15,124	14,766
	⑧焼却施設からの資源化量	7,276	18,548	18,685	20,456	24,145
	⑨焼却以外の中間処理施設からの資源化量	190,766	185,777	182,416	168,166	164,476
	合 計	213,882	220,529	216,549	203,746	203,387

(注) 1 県外からの受託分を含む。

2 区分欄の番号は、7ページのごみ処理フローシートの番号と同一である。

5 ごみ処理施設の整備状況と処理実績

(1) 施設整備状況

本県におけるごみ処理施設の整備状況は、表2-9のとおりである。

平成21年度中に稼働実績がある焼却施設は、全部で26施設あり、固定火格子バッチ燃焼式が1施設、機械化バッチ燃焼式が7施設、准連続燃焼式が8施設、全連続燃焼式が10施設ある。資源化等を行う施設は29施設、粗大ごみ処理施設は14施設、燃料化処理施設は7施設、保管施設は35施設ある。

表2-9 ごみ処理施設の施設数及び処理能力の推移

区 分		年 度				
		17	18	19	20	21
焼 却 施 設	固定バッチ式 (施設数)	1	1	1	1	1
	能力 (t/日)	26	26	26	26	26
	機械化バッチ式 (施設数)	7	7	7	7	7
	能力 (t/日)	164	164	164	164	164
	准連続式 (施設数)	8	8	8	8	8
	能力 (t/日)	584	584	584	604	604
	全連続式 (施設数)	11	11	11	10	10
	能力 (t/日)	2,395	2,395	2,395	2,195	2,120
	計 (施設数)	27	27	27	26	26
	能力 (t/日)	3,169	3,169	3,169	2,989	2,914
資源化等を行う施設 (施設数)	27	32	29	30	29	
能力 (t/日)	571	628	612	635	620	
粗大ごみ処理施設 (施設数)	13	14	14	14	14	
能力 (t/日)	393	401	401	401	401	
燃料化処理施設 (施設数)	7	7	7	7	7	
能力 (t/日)	550	550	550	550	550	
保管施設 (施設数)	29	30	32	34	35	
能力 (m ²)	12,636	12,976	13,878	14,353	14,542	
合 計 (施設数)	103	110	109	111	111	
能力 (t/日)	4,683	4,748	4,732	4,575	4,485	
能力 (m ²)	12,636	12,976	13,878	14,353	14,542	

(注) 1 各年度中に稼働実績がある施設を計上している。

2 焼却施設の区分は次のとおりである。

- ・ 固定バッチ式 … 固定された火格子により間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・ 機械化バッチ式 … 固定バッチの一部を機械化し間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・ 准連続式 … 連続焼却を行う方式で、1日16時間稼働。
- ・ 全連続式 … 連続焼却を行う方式で、24時間連続稼働。

※ 連続焼却方式：ごみの供給、移動・攪拌、焼却灰の排出等が連続的に機械装置で運転管理できる施設。

(2) 処理実績

本県におけるごみ処理施設（焼却施設・資源化施設・粗大ごみ処理施設・燃料化処理施設・保管施設）の位置図は、図2-6～図2-8、処理実績等の一覧表は、表2-10～表2-14のとおりである。

【凡 例】

○ 1 ~ ○ 26 : 施設番号 (焼却施設)

□ 1 ~ □ 7 : 施設番号 (燃料化处理施設)

■ 組合名 : 一部事務組合構成区域

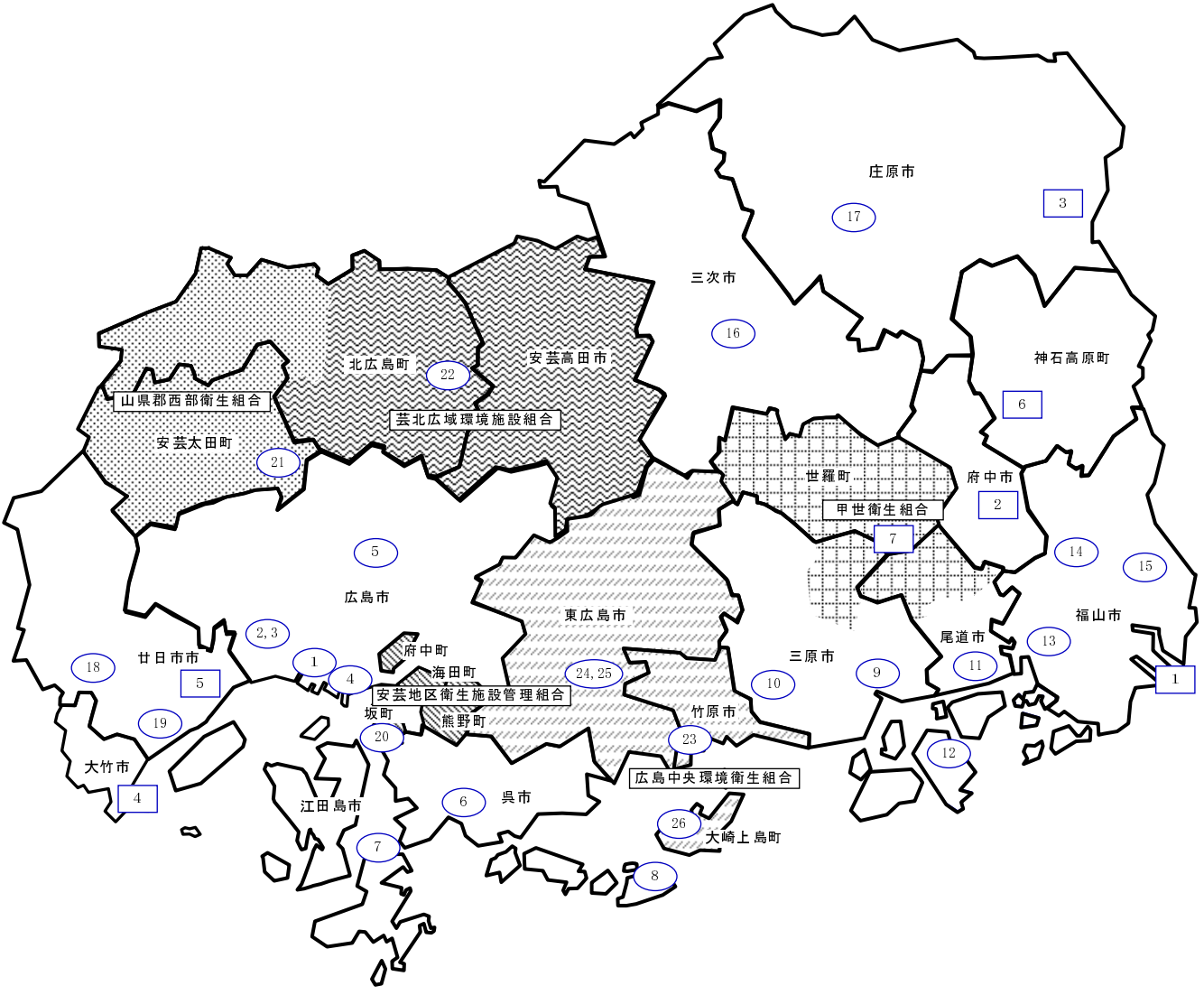


図 2-6 焼却施設及び燃料化处理施設の位置図
(平成 21 年度末現在)

【凡 例】

○ 1 ~ ○ 29 : 施設番号 (資源化施設)

□ 1 ~ □ 14 : 施設番号 (粗大ごみ処理施設)

組合名 : 一部事務組合構成区域

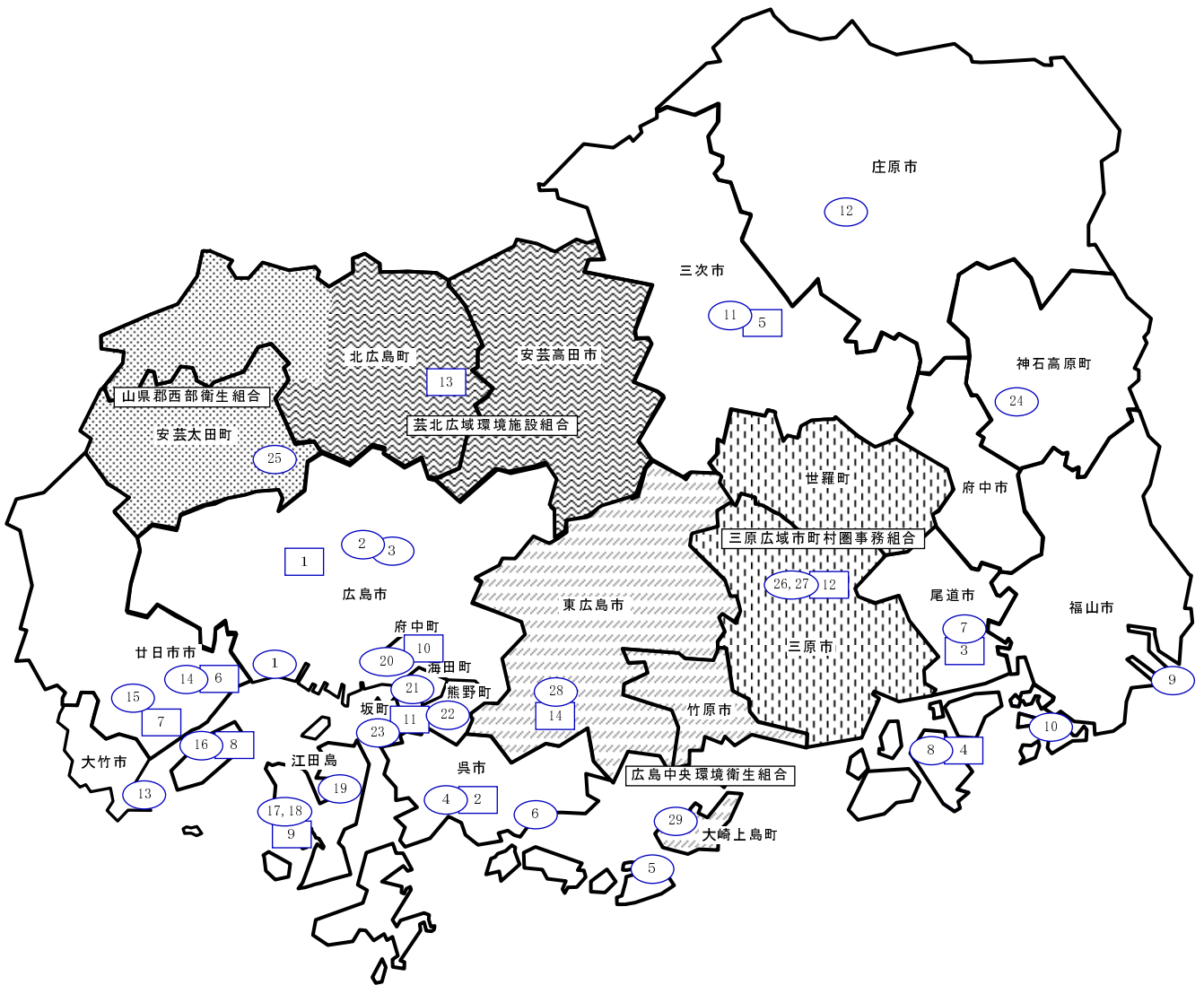


図 2-7 資源化施設及び粗大ごみ処理施設の位置図
(平成 21 年度末現在)

【凡 例】

○ 1 ~ ○ 35 : 施設番号 (保管施設)

■ 組合名 : 一部事務組合構成区域

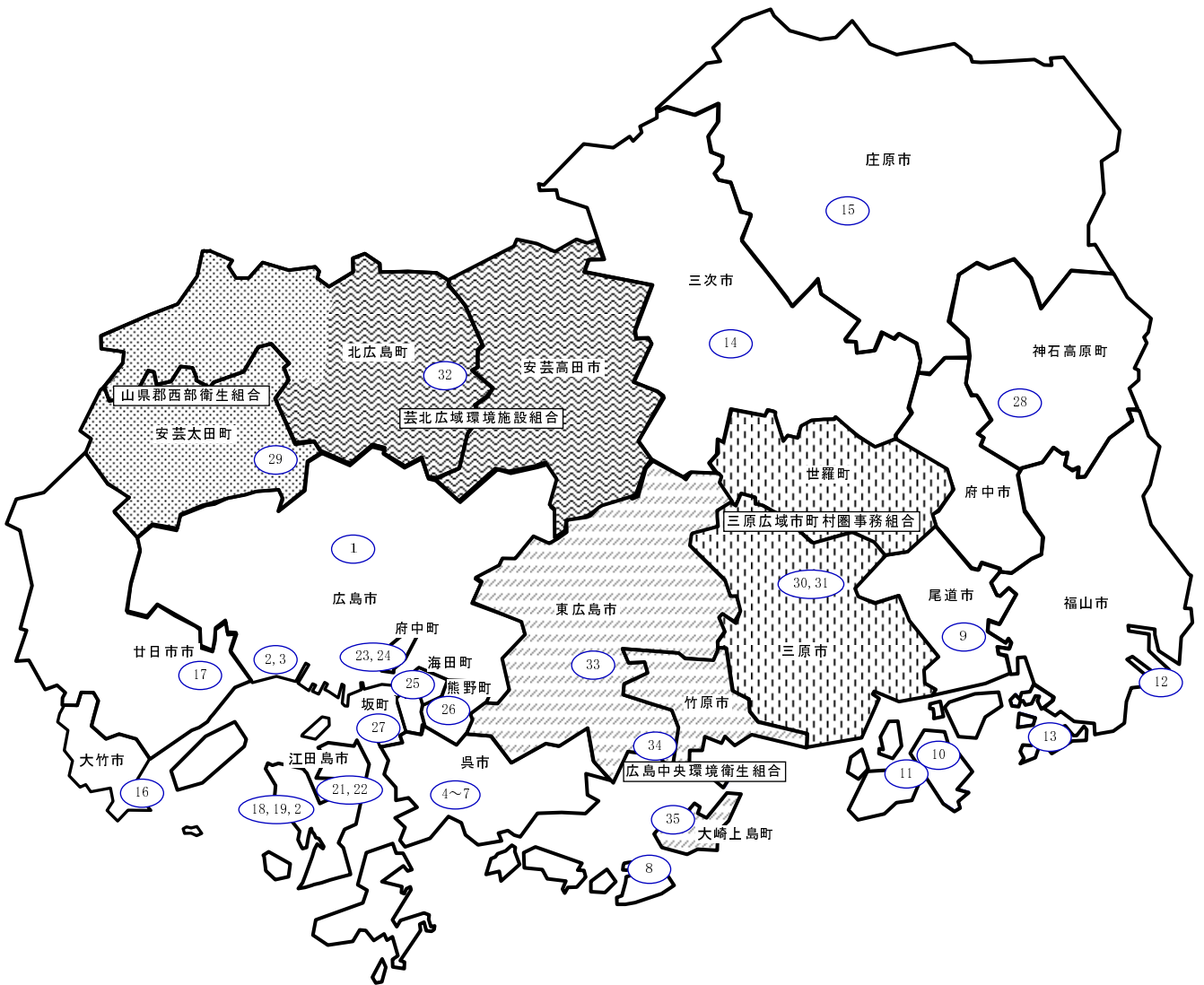


図 2-8 保管施設の位置図
(平成 21 年度末現在)

表2-10 焼却施設及び処理実績等一覧表

施設番号	処理方式	市 町 事務組合 名	所 在 地	施 設 名	使用開始年度	処 理 対 象						
						混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	処理残さ	その他
1	全	広島市	広島市中区南吉島一丁目4-2	広島市中工場	2003		○				○	
2	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場（1系）	1980		○					
3	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場（2・3系）	1984		○					
4	全	広島市	広島市南区東雲三丁目17-1	広島市南工場	1988		○				○	
5	全	広島市	広島市安佐北区可部町中島1460-1	広島市安佐北工場	1990		○				○	
6	全	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ （第3工場）	2002		○					
7	機	呉市	呉市音戸町渡子一丁目5-25	日附環境美化センター	1995		○					
8	機	呉市	呉市豊町大長6329-1	芸予環境衛生センター （ごみ処理施設）	1997		○		○	○		
9	准	三原市	三原市八坂町227	三原市清掃工場	1999		○			○		
10	固	三原市	三原市本郷町本郷543-1	三原市本郷清掃工場	1993		○			○		
11	准	尾道市	尾道市長者原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994		○				○	
12	准	尾道市	尾道市重井町5334	尾道市因瀬クリーンセンター	1990		○				○	
13	全	福山市	福山市赤坂町赤坂521	福山市新西部清掃工場	1980		○					
14	機	福山市	福山市新市町下安井3328-6	福山市新市クリーンセンター	1994		○					
15	准	福山市	福山市神辺町上御領3000-7	福山市深品クリーンセンター	1994		○			○		
16	准	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996		○				○	
17	機	庄原市	庄原市一木町境ヶ谷266-2	庄原市備北クリーンセンター	2001		○				○	
18	機	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯クリーンセンター	1999		○					
19	准	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997		○					
20	全	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002		○			○	○	
21	機	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996		○				○	
22	准	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 可燃ごみ処理施設	1995		○				○	
23	准	広島中央	竹原市吉名町2654	竹原安芸津環境センター	1991		○			○	○	
24	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター （1号炉，2号炉）	1985		○			○	○	
25	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター （3号炉）	2001		○			○	○	
26	機	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991		○				○	
(注) 1. 処理方式 「固」固定バッチ，「機」機械化バッチ，「准」准連続，「全」全連続 2. 施設改廃等 「建設」建設中，「変無」能力変更なし，「能変」能力変更あり											固 1施設 機 7施設 准 8施設 全 10施設 計26施設	

公称能力 (t/日)	基数 (基)	年間処理量 (t/年度)	余熱利用の状況	資源化量 (t/年度)	発電能力 (kW)	発電効率 (公称) (%)	総発電量 (MWh)	灰処理設備		施設改廃等	運転管理体制
								焼却灰	飛灰		
600	3	156,845	場内温水 場内蒸気 場外温水 発電(場 内利用, 場外利用)	8,364	15,200	14	57,673	熔融処理	熔融処理	変無	委託
45	1	4,276	利用無し					無し	薬剤処理	変無	委託
90	2	21,270	場内温水					無し	薬剤処理	変無	委託
300	2	62,052	場内, 場外温水 場 内, 場外蒸気 発電 (場内, 場外利用)		1,400	8	10,597	薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
200	2	50,097	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用, 場 外利用)		1,100	6	5,952	無し	薬剤処理	変無	委託
380	3	63,357	場内温水 場外温水 発電(場内利用, 場 外利用)	580	7,000	16	31,017	熔融処理	セメント固 化 薬剤処理	変無	委託
31	2	4,647	場内温水					無し	薬剤処理	変無	直営
7	1	1,042	利用無し					薬剤処理	薬剤処理	変無	直営
120	2	30,423	場内温水					その他 処理	セメント固 化 薬剤処理	変無	一部委託
26	2	3,247	利用無し					無し	薬剤処理	変無	委託
120	2	32,847	場内温水 場外温水					薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
50	2	9,966	場内温水 場外温水					薬剤処理	薬剤処理	変無	直営
150	2	25,978	利用無し					無し	薬剤処理	変無	一部委託
30	2	4,444	利用無し					無し	薬剤処理	変無	一部委託
80	2	17,123	場内温水					薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
60	2	11,452	場内温水					無し	薬剤処理	変無	委託
40	2	5,904	利用無し					無し	薬剤処理	変無	直営
15	2	2,250	場内温水 場内蒸気					無し	薬剤処理	変無	委託
60	2	8,193	場内温水 場内蒸気					無し	セメント固 化 薬剤処理	変無	委託
130	2	32,970	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用)	2,048	1,300	11	7,692	熔融処理	無し	変無	委託
26	2	1,818	利用無し					無し	薬剤処理	変無	直営
44	2	10,425	場外温水	1,507				無し	セメント固 化 薬剤処理	変無	直営
70	2	10,357	場内温水					無し	セメント固 化	変無	一部委託
75	2	15,363	利用無し					無し	薬剤処理	変無	委託
150	1	38,665	場内温水					無し	薬剤処理	変無	委託
15	2	1,929	場内温水					無し	薬剤処理	変無	直営
26	2	3,247		0	0		0				
164	13	22,034		0	0		0				
604	16	130,786		1,507	0		0				
2,120	20	470,873		10,992	26,000		112,931				
2,914	51	626,940		12,499	26,000		112,931				

表2-11 資源化等を行う施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997
2	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990
3	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬2030	広島市植木せん定枝リサイクルセンター	1999
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目9	呉市資源化施設	1998
5	呉市	呉市豊町大長6329-1	芸予環境衛生センター	1997
6	呉市	呉市川尻町水落1018番地	呉東部中継センター	2003
7	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-11	尾道市ストックヤードPET減容施設	1999
8	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
9	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター(リサイクル工場)	2000
10	福山市	福山市内海町新道644-1	福山市内海リサイクルセンター	1996
11	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	2000
12	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005
13	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理資源化施設	1989
14	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001
15	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯不燃物処理作業場	2006
16	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島不燃物処理施設	1980
17	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ビン・缶)	1998
18	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ペットボトル)	2002
19	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市リレーセンター(可燃ごみ)	2002
20	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町環境センター	1999
21	海田町	海田町国信二丁目18-1	海田町環境センター	1988
22	熊野町	熊野町中溝一丁目1-1	熊野町エコステーション	2001
23	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004
24	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006
25	山県郡西部	安芸太田町加計穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996
26	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	再資源選別処理場	1993
27	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設(プラスチック圧縮梱包施設)	2006
28	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(ペットボトル等処理施設)	2006
29	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991

(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり

表2-12 粗大ごみ処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	種類	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	破	広島市	広島市安佐南区沼田町伴3990	広島市安佐南工場大型ごみ破碎処理施設	1992
2	併	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ(ごみ破碎選別施設)	2002
3	併	尾道市	尾道市長者原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994
4	併	尾道市	尾道市因島大浜町大池奥1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
5	併	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996
6	破	廿日市市	廿日市市宮内3860	廿日市市粗大ごみ処理施設	1990
7	併	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997
8	破	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島粗大ごみ処理施設	1999
9	破	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(粗大)	1998
10	破	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町環境センター	1985
11	破	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002
12	圧	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	2010
13	併	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 粗大ごみ処理施設	1996
14	併	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(粗大ごみ処理施設)	1990

(注) 1. 種類
「破」は破碎, 「圧」は圧縮, 「併」は併用施設
2. 施設改廃等
「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり

処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	資 源 回 収 量 (t/年度)	処 理 内 容				施 設 改 廢 等	運 転 管 理 制 体	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他				選 別	圧 縮 梱 包	堆 肥 化	そ の 他			
		○		○	90.0	19,594	15,269	○	○			変無	委託	
		○		○	50.0	10,968	8,188	○	○			変無	委託	
				○	25.0	1,075	1,068			○		変無	委託	
		○			4.0	8,477	8,313	○	○			変無	委託	
		○			0.2	77	66	○	○			変無	直営	
○					30.0	5,252	0		○			変無	直営	可燃ごみ圧縮施設
		○			7.0	219	189	○	○			変無	直営	
		○			4.0	309	309	○	○			変無	一部委託	
	○	○	○		170.0	12,927	5,565	○	○			変無	一部委託	
	○	○	○		1.6	264	151	○	○			変無	委託	
		○			7.0	789	709		○			変無	委託	
	○	○	○		15.0	1,947	1,415	○	○		○	変無	委託	
	○	○	○		11.0	2,558	1,676	○	○			変無	直営	
		○			24.0	2,414	2,397	○	○			変無	委託	
		○			3.0	333	333	○	○			変無	委託	
	○	○			25.0	24	0	○	○			変無	一部委託	
		○			7.0	464	286	○	○			変無	委託	
		○			0.35	56	56		○			変無	委託	
○					45.0	7,626	0		○			変無	委託	可燃ごみ圧縮施設
		○			0.8	103	89	○	○			変無	委託	
		○			10.0	1,265	915	○	○			変無	直営	
		○			2.0	24	24				○	変無	直営	
		○			4.0	860	860	○	○			変無	一部委託	
		○			8.0	25	24		○			変無	委託	
		○	○	○	9.0	538	508	○	○			変無	直営	
	○	○	○		30.0	2,983	2,983	○				変無	委託	
		○			11.0	717	717	○	○			変無	委託	
		○			22.0	1,903	1,337	○	○			変無	委託	
	○	○	○	○	4.0	416	118	○				変無	直営	
計 29施設					620.0	84,207	53,565							

処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	資 源 回 収 量 (t/年度)	施 設 改 廢 等	運 転 管 理 制 体	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他						
			○		100.0	9,553	1,539	変無	委託	
	○		○		55.0	9,220	1,431	変無	委託	
	○	○	○		35.0	4,468	1,132	変無	委託	
		○	○		14.0	602	219	変無	一部委託	
	○	○	○	○	22.0	2,592	1,233	変無	委託	
			○		35.0	1,362	347	変無	委託	
	○		○		13.0	377	162	変無	委託	
			○		4.0	34	12	変無	一部委託	
			○		8.0	830	218	変無	委託	
			○		5.0	603	52	変無	委託	
			○		6.0	1,534	0	変無	委託	
	○	○	○		50.0	882	882	新設	委託	
	○	○	○		14.0	1,362	925	変無	直営	
	○	○	○	○	40.0	4,563	2,088	変無	委託	
破砕 6施設					158.0	13,916	2,168			
圧縮 1施設					50.0	882	882			
併用 7施設					193.0	23,184	7,190			
計 14施設					401.0	37,982	10,240			

表2-13 燃料化処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	福山市	福山市箕沖町107-7	福山市ごみ固形燃料工場	2004
2	府中市	府中市鶴飼町74-2	府中市クリーンセンター	2002
3	庄原市	庄原市東城町久代6671-2	庄原市東城クリーンセンターごみ固形燃料化施設	2002
4	大竹市	大竹市東栄3-3	大竹市ごみ固形燃料施設	2003
5	廿日市市	廿日市市宮内3860	エコセンターはつかいち	2004
6	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせき	2002
7	甲世衛生	世羅町川尻781-19	エコワイズセンター	1998

(注) 施設改廃等：「建設」建設中，「変無」能力変更なし，「能変」能力変更あり

表2-14 保管施設及び保管実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990
2	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997
3	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-1	広島市資源ごみ選別施設	1998
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市缶類資源化施設	2000
5	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市紙類ストックヤード	2000
6	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市ペットボトルストックヤード	2000
7	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市カレットストックヤード	1998
8	呉市	呉市豊町大長3629-1	芸予環境衛生センター（ストックヤード）	2002
9	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-1	尾道市ストックヤード減容施設	1999
10	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
11	尾道市	尾道市因島重井町5334	尾道市因瀬クリーンセンター	1990
12	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター（リサイクル工場）	2000
13	福山市	福山市内海町662	福山市内海最終処分場（保管施設）	2001
14	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996
15	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005
16	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理場	1989
17	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001
18	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（カレット）	1998
19	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（ペットボトル）	2002
20	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（鉄・アルミ缶）	2002
21	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市環境リレーセンター（古紙）	1985
22	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市環境リレーセンター（ストックヤード）	2009
23	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町環境センター	1981
24	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町リサイクルセンター	1999
25	海田町	海田町国信2-18-1	海田町環境センター	1988
26	熊野町	熊野町深原平2682-73	熊野町環境センターストックヤード	2006
27	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004
28	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006
29	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996
30	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	1974
31	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設（プラスチック圧縮梱包施設）	2006
32	芸北広域	北広島町川井宇津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター スtockヤード施設	2002
33	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター	1990
34	広島中央	東広島市安芸津町木谷1620-1	竹原安芸津最終処分場（保管施設）	1995
35	広島中央	大崎上島町沖浦106-10	沖浦古紙ストックヤード	2006

(注) 施設改廃等：「建設」建設中，「変無」能力変更なし，「能変」能力変更あり

処 理 対 象						供 給 先 の 状 況	公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	燃 料 製 造 量 (t/年度)	施 設 改 廢 等	運 轉 管 理 体 制	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他	処 理 残 さ							
○					○	発電用	300.0	86,386	48,905	変無	一部委託	
○			○			発電用	60.0	7,746	3,394	変無	委託	
○						発電用	19.0	1,661	780	変無	直営	
○					○	発電用	42.0	7,244	3,900	変無	委託	
○					○	発電用	102.0	20,820	12,087	変無	委託	
○						発電用	11.0	1,051	456	変無	委託	
○			○			発電用	16.0	3,490	1,801	変無	直営	
計 7施設							550.0	128,398	71,323			

保 管 対 象						保 管 面 積			年 間 保 管 量 (t/年度)	保 管 分 類 数	施 設 改 廢 等	運 轉 管 理 体 制	備 考
紙	金 属	ガ ラ ス	ペ ッ ト ボ ト ル	プ ラ ス チ ッ ク	そ の 他	屋 内 (㎡)	屋 外 (㎡)	合 計 (㎡)					
○	○	○			○	1,159	0	1,159	10,968	4	変無	委託	
○	○	○				1,215	0	1,215	19,594	4	変無	委託	
			○			84	0	84	235	1	変無	委託	
	○					400	0	400	574	2	変無	委託	
○						250	0	250	5,705	4	変無	委託	
			○			200	0	200	414	1	変無	委託	
		○				0	196	196	1,694	3	変無	委託	
○		○				140	2,577	2,717	190	7	変無	直営	
			○			299	1,774	2,073	189	1	変無	直営	
	○	○			○	233	262	495	544	12	変無	委託	
○			○			42	111	153	1,211	5	変無	直営	
			○	○		288	0	288	4,197	2	変無	一部委託	
			○	○		36	0	36	29	2	変無	委託	
	○	○	○		○	198	0	198	1,239	8	変無	委託	
○	○	○	○	○		140	0	140	1,415	9	変無	委託	
○	○	○	○	○		0	300	300	1,676	5	変無	直営	
○	○	○	○	○		292	0	292	2,397	9	変無	委託	
		○				53	0	53	151	3	変無	委託	
			○			125	0	125	56	1	変無	委託	
	○					40	0	40	135	2	変無	委託	
○						185	0	185	240	3	変無	委託	
○						180	0	180	736	3	新設	委託	
○	○	○			○	72	112	184	1,235	7	変無	直営	
○			○	○		273	0	273	89	3	変無	委託	
○	○	○	○			138	50	188	2,021	4	変無	直営	
○	○	○	○	○	○	574	0	574	1,244	8	変無	委託	
○	○	○	○	○	○	242	0	242	850	12	変無	一部委託	
	○	○				150	0	150	55	4	変無	委託	
○	○	○	○	○	○	412	0	412	508	6	変無	直営	
	○	○	○			189	52	241	2,266	4	変無	委託	
				○		34	0	34	717	1	変無	委託	
○			○	○		105	21	126	119	3	変無	直営	
	○	○			○	212	0	212	2,681	4	変無	委託	
○	○		○	○		420	0	420	1,861	10	変無	一部委託	
○						707	0	707	514	3	変無	一部委託	
計 35施設						9,087	5,455	14,542	67,749				

6 最終処分場の整備状況と埋立実績

(1) 整備状況

市町及び一部事務組合における最終処分場の状況は、表2-15のとおりである。

過去3年間における埋立実績の平均から推計すると、約20年分の残余容量がある。

新たな最終処分場の整備については、住民合意が得られにくいなどの問題により、整備が難しいことから、ごみの減量化及び資源化を一層促進して残余容量の確保を図るとともに、処分場の計画的な整備を行う必要がある。

表2-15 最終処分場の状況

最終処分数				埋立地面積 (m ²)	全体容量 (m ³)	残余容量 (m ³)	埋立実績 (m ³ /年)	残余年数 (年)
山間	平地	海面	計					
23	5	1	29	954,953	8,980,434	2,541,415	122,336	20

(注) 1 最終処分場の区分は次のとおりである。

- ・山間 … 山間の谷間（空間）を利用した最終処分場。
- ・平地 … 陸上の平地を掘削して設置された最終処分場。
- ・海面 … 水面部に設置された最終処分場のうち、海面埋立のもの。

2 最終処分場の容量の残余年数は、次のとおり算出した。

埋立実績：平成19年度 138,847m³、平成20年度 116,339m³、平成21年度 122,336m³、

過去3年間の平均埋立量：(138,847m³ + 116,339m³ + 122,336m³) / 3年 = 125,841m³

残余年数：2,541,415m³ / 125,841m³ = 20.2年

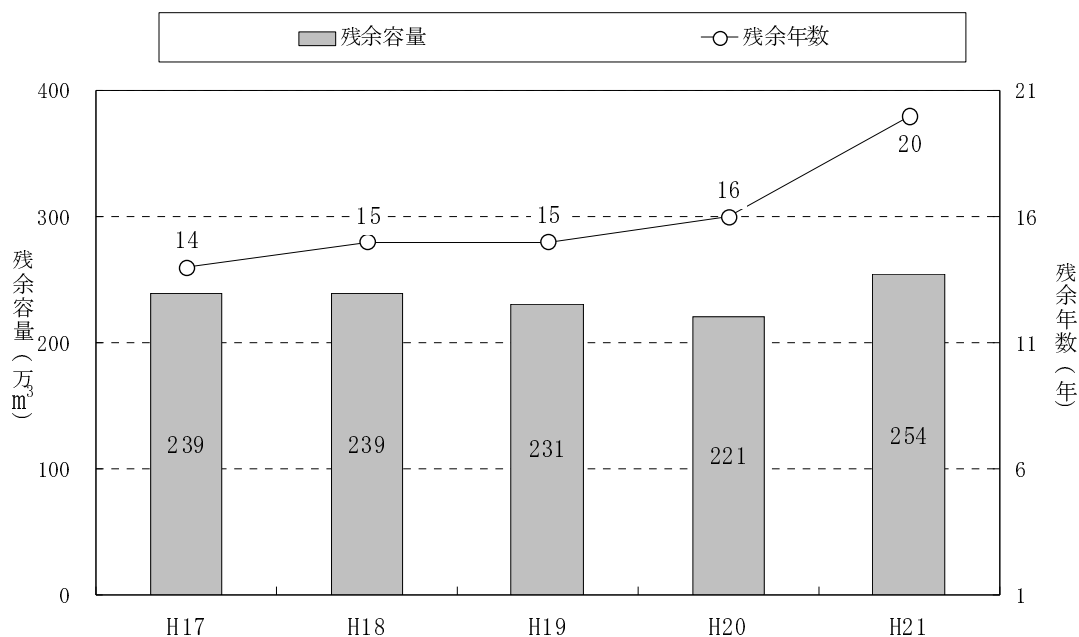


図2-9 残余容量及び残余年数の推移

(2) 埋立実績

本県における最終処分場の位置図は図2-10、埋立実績等の一覧表は表2-16のとおりである。

【凡 例】

○ 1 ~ ○ 29 : 施設番号 (最終処分場)

● : (財) 環境保全公社の施設

▨ 組合名 : 一部事務組合構成区域

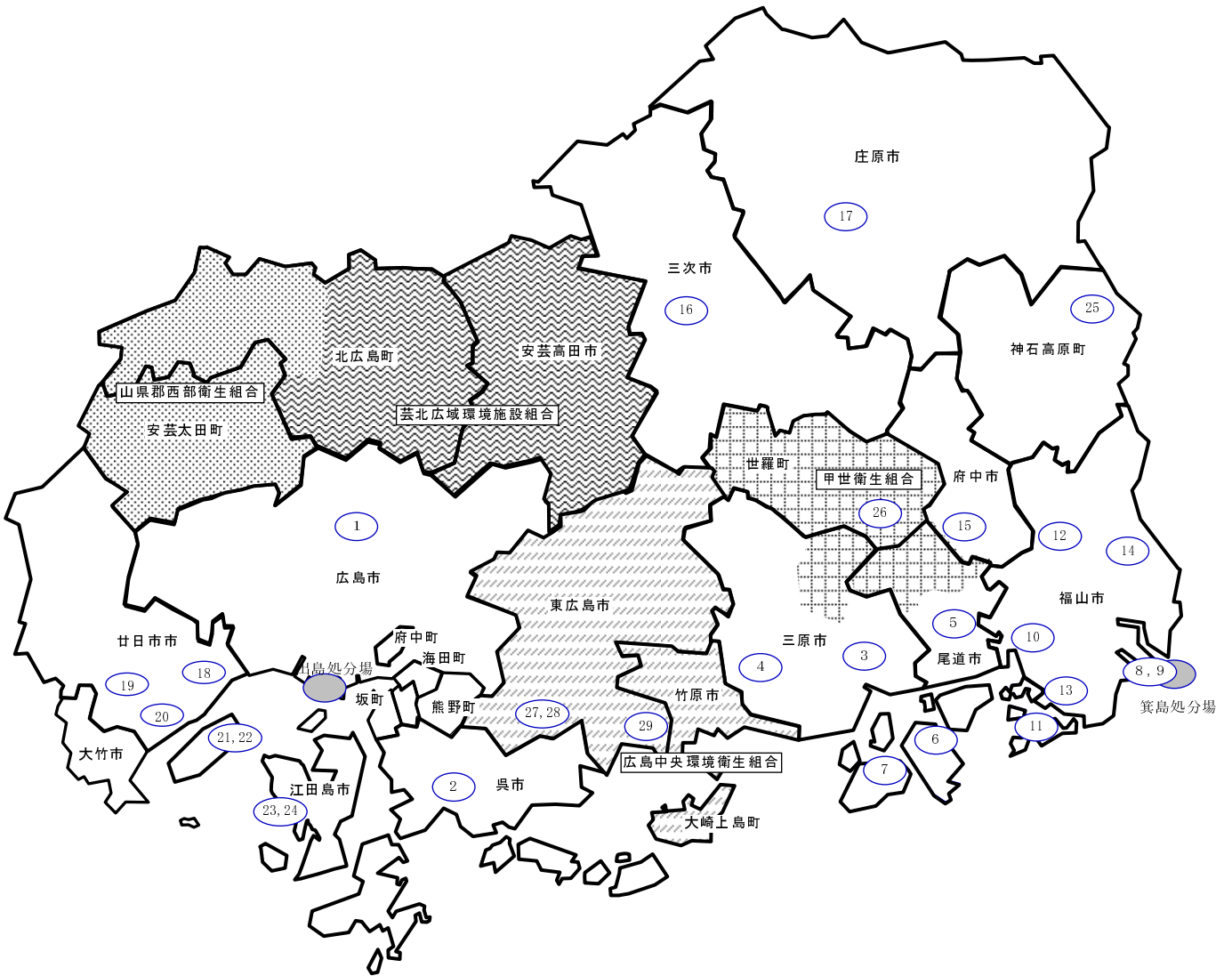


図 2-10 最終処分場の位置図
(平成 21 年度末現在)

表2-16 最終処分場及び埋立実績等一覧表

施設番号	埋立場所	市町村 事務組合名	所在地	施設名	埋立 開始年度
1	山間	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬2030	広島市玖谷埋立地	1990
2	海面	呉市	呉市多賀谷地先	呉市埋立処理場	1987
3	山間	三原市	三原市八坂町227	三原市一般廃棄物最終処分場	1998
4	山間	三原市	三原市本郷町本郷373	三原市本郷一般廃棄物埋立処分場	1989
5	山間	尾道市	尾道市原田町梶山田1909	尾道市最終処分場（原田町）	2002
6	山間	尾道市	尾道市因島大浜町大池奥1217-1	尾道市因島一般廃棄物最終処分場	1996
7	山間	尾道市	尾道市瀬戸田町名荷2221	尾道市瀬戸田名荷埋立処分地	1991
8	平地	福山市	福山市箕沖町107-4	福山市新箕沖埋立地	1989
9	平地	福山市	福山市箕沖町107-3	福山市箕沖埋立地	1978
10	平地	福山市	福山市柳津町2285	福山市慶応浜埋立地	1981
11	山間	福山市	福山市内海町662	福山市内海最終処分場	1994
12	山間	福山市	福山市新市町下安井3328-6	福山市新市クリーンセンター最終処分埋立地	1994
13	山間	福山市	福山市沼隈町下山南西ノ迫池内	福山市沼隈最終処分場	1988
14	山間	福山市	福山市神辺町上御領300-13	福山市深品クリーンセンター最終処分場	2000
15	山間	府中市	府中市諸毛町岩後231	府中市埋立センター	1989
16	山間	三次市	三次市粟屋町3505	一般廃棄物下荒瀬最終処分場	1993
17	平地	庄原市	庄原市是松町20-26	庄原市一般廃棄物最終処分場	2005
18	山間	廿日市市	廿日市市宮内3860	廿日市市一般廃棄物最終処分場	1992
19	山間	廿日市市	廿日市市大野2715-2	廿日市市佐伯一般廃棄物最終処分場	1994
20	山間	廿日市市	廿日市市大野1814-22	廿日市市大野一般廃棄物最終処分場	1994
21	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦1153-12	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場（現有）	1988
22	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦1153-12	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場（新設）	2000
23	山間	江田島市	江田島市沖美町岡大王718番地1	江田島市環境センター（第1埋立地）	1983
24	山間	江田島市	江田島市沖美町岡大王718番地1	江田島市環境センター（第2埋立地）	1994
25	山間	神石高原町	神石高原町有木7170-2	グリーンセンター陽光	2005
26	平地	甲世衛生	世羅町川尻781-20	甲世衛生組合最終処分場	1987
27	山間	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター（1工区）	1990
28	山間	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター（2工区）	2006
29	山間	広島中央	東広島市安芸津町木谷1620-1	竹原安芸津最終処分場	1995

(注) 施設改廃等：「建設」建設中，「変無」能力変更なし，「能変」能力変更あり

埋立物							埋立地面積 (m ²)	全体容量 (m ³)	残余容量 (m ³)	埋立実績 (m ³)	埋立終了年度 (予定)	浸出水処理施設 しや水工	処分場の現状	施設改廃等	運転管理体制	
可燃	不燃	資源	その他	粗大	処理残さ	焼却残さ										
	○		○		○	○	146,000	3,500,000	985,000	64,800	2019	有	有	埋立中	能変	一部委託
					○	○	184,000	1,003,010	0	6,032	2011	有	有	埋立中	変無	直営
					○	○	21,000	146,000	61,464	5,839	2015	有	有	埋立中	変無	一部委託
			○			○	1,627	6,400	320	270	2009	有	有	埋立中	変無	委託
						○	23,000	194,000	162,640	4,899	2017	有	有	埋立中	変無	委託
○					○	○	10,700	80,000	40,747	2,279	2011	有	有	埋立中	変無	一部委託
					○		10,100	54,000	40,558	473	2021	有	有	埋立中	変無	委託
			○		○	○	85,000	628,000	260,766	0	2027	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	○	165,000	1,495,000	156,929	12,157	2023	有	有	埋立中	変無	直営
			○			○	41,000	155,800	11,286	848	2020	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○		3,000	10,700	5,371	20	2030	有	有	埋立中	変無	委託
○						○	7,200	60,000	47,877	505	2030	有	有	埋立中	変無	一部委託
○					○	○	8,380	56,723	0	0	2012	有	有	埋立中	休止	委託
						○	8,700	75,000	55,232	1,623	2035	有	有	埋立中	変無	委託
○						○	20,000	91,280	7,255	1,745	2011	有	有	埋立中	能力変更	直営
			○		○	○	57,000	154,000	97,504	1,930	2023	有	有	埋立中	変無	委託
					○		1,166	7,100	6,030	198	2019	有	有	埋立中	変無	委託
○					○	○	18,000	150,000	84,307	1,501	2041	有	有	埋立中	変無	委託
○					○	○	3,400	11,400	3,582	1,618	2013	有	有	埋立中	変無	委託
○			○			○	30,000	221,000	188,216	0	2013	有	有	埋立中	変無	委託
					○	○	5,400	29,800	0	0	2006	無	有	埋立中	変無	直営
○					○	○	6,700	33,000	29,206	307	2015	有	有	埋立中	変無	一部委託
○					○	○	13,960	151,949	0	0	2009	有	有	埋立終了	変無	委託
○					○	○	15,700	93,000	32,751	1,744	2020	有	有	埋立中	変無	委託
○			○				1,150	7,600	7,300	78	2019	有	有	埋立中	変無	直営
○							1,270	3,302	75	43	2015	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	○	22,500	217,370	0	0	2008	有	有	埋立終了	変無	委託
			○		○	○	12,000	195,000	156,806	9,660	2023	有	有	埋立中	変無	委託
○	○			○	○	○	32,000	150,000	100,193	3,767	2025	有	有	埋立中	変無	一部委託
山間 23施設							477,517	5,688,222	2,106,329	103,058						
平地 5施設							293,436	2,289,202	435,086	13,246						
海面 1施設							184,000	1,003,010	0	6,032						
計 29施設							954,953	8,980,434	2,541,415	122,336						

7 資源化の状況

(1) 資源化率及びリサイクル率

平成 21 年度の資源化率は 21.7%，リサイクル率は 23.9% で、前年度と比べてどちらも増加した。焼却施設から発生した溶融スラグの再生利用量が増加したことが要因と思われる。

表 2-17 ごみ処理における資源化率及びリサイクル率の推移

年 度	17	18	19	20	21	全国平均 (平成 20 年度)
資源化率 (%)	20.1	21.0	21.7	21.4	21.7	15.2
リサイクル率 (%)	22.1	23.1	23.8	23.6	23.9	20.3
リサイクル率 (%) (ごみ燃料化量を除く。)	15.5	16.1	16.4	16.0	16.4	19.6

- (注) 1 資源化率 (%) = (ごみ資源化量) / (ごみ処理量) × 100
 2 リサイクル率 (%) = [(ごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100
 3 リサイクル率 (ごみ燃料化量を除く。) (%) = [(ごみ燃料化量を除いたごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100
 4 県外分は含まない。

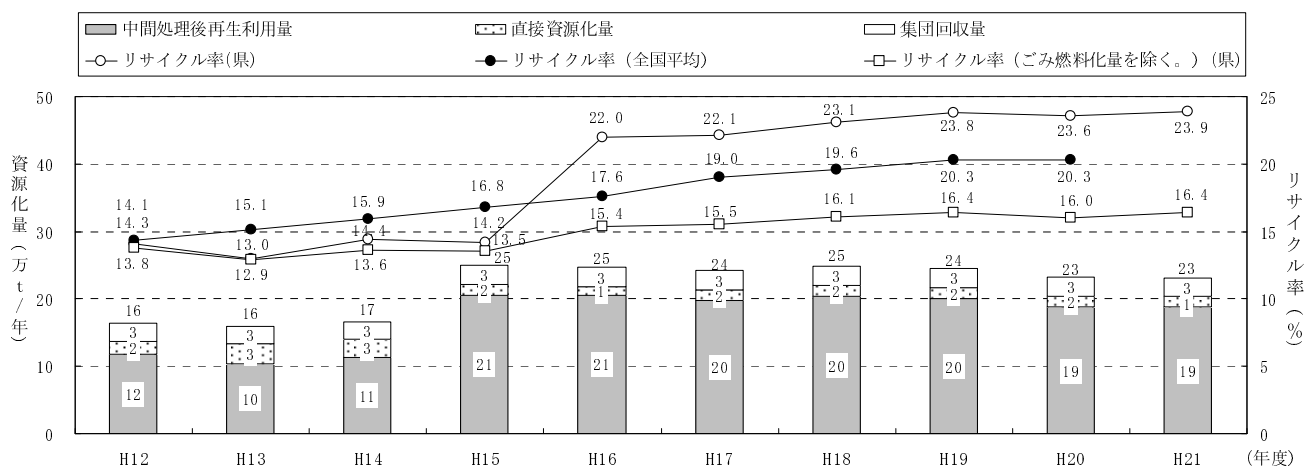


図2-11 資源化量とリサイクル率の推移

(2) 種類別資源化量

市町等により収集処理され資源化されたものの種類別資源化量は、表 2-18 のとおりである。

表 2-18 種類別資源化量

(単位: t/年)

紙	金属類	ガラス類	ペット ボトル	容器包装 プラスチック類	布 類	溶融 スラグ	固形燃料	その他	計
36,503	20,789	16,340	4,548	24,521	3,259	12,211	72,191	13,025	203,387

(注) 「その他」には、肥料、焼却灰・飛灰のセメント原料化、BDF等

市町別の種類別資源化量及び一括データは、IV資料編の資料-表 12 及び表 13 に示すとおりである。